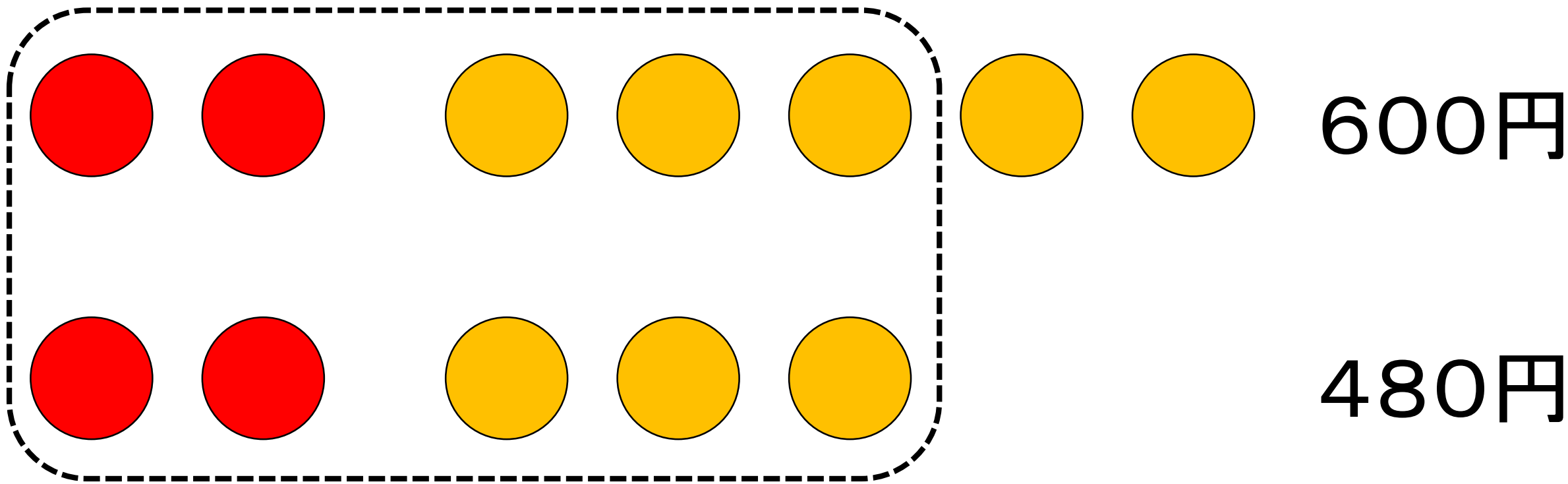
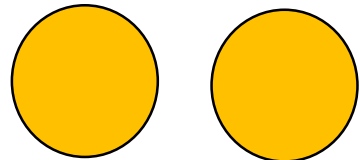
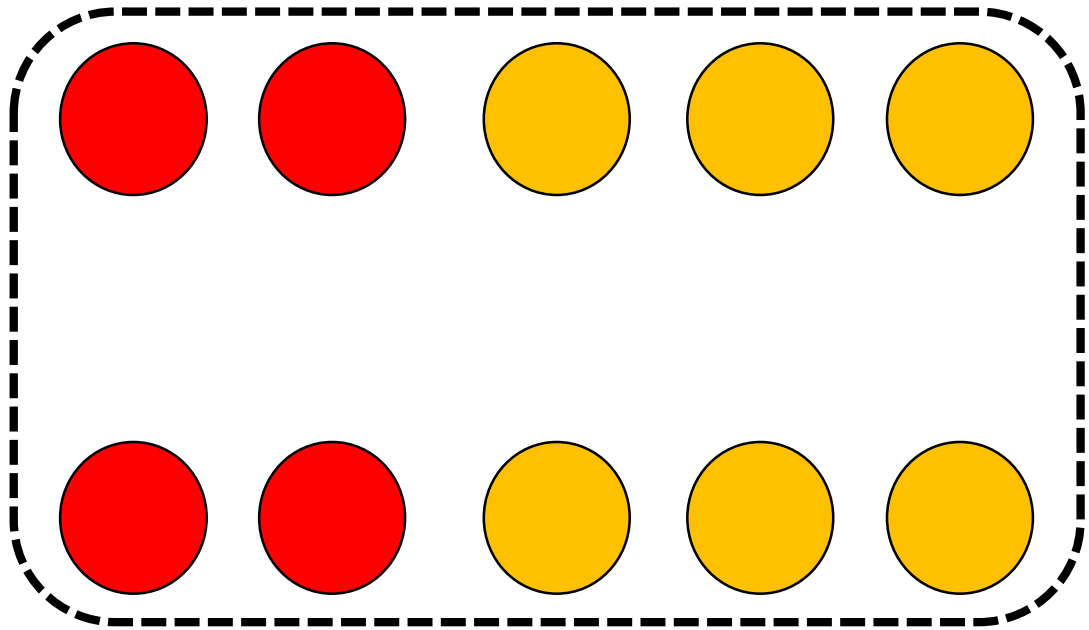


●をりんご、●をみかんとすると

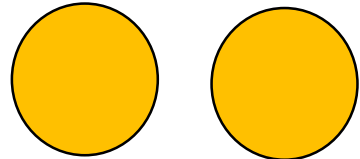




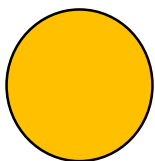
600円



480円



120円



60円

りんご1個の値段を  $x$  円  
みかん1個の値段を  $y$  円とすると...

$$\left\{ \begin{array}{l} 2x + 5y = 600 \\ 2x + 3y = 480 \end{array} \right.$$

$$\left\{ \begin{array}{l} 2x + 3y = 480 \\ 2y = 120 \end{array} \right.$$

$$2y = 120$$

$$y = 60$$



2つの式を  
比べて...

$$\begin{cases} 2x + 5y = 600 \cdots \textcircled{1} \\ 2x + 3y = 480 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

$$\textcircled{1} - \textcircled{2} \quad 2x + 5y = 600$$

$$- \quad 2x + 3y = 480$$

---

$$2y = 120$$

$$y = 60$$

$y = 60$  を①に代入

$$2x + 5 \times 60 = 600$$

$$2x + 300 = 600$$

$$2x = 300$$

$$x = 150$$

$$x = 150, y = 60$$

りんご1個150円、みかん1個60円

文字  $x$  をふくむ2つの方程式から  
 $x$  をふくまない1つの方程式を  
つくることを、 $x$  を消去するという。

なんでこんなことをするのか？

文字を1つ消去することで、  
1元1次方程式として考えられる。

2元1次方程式  $\Rightarrow$  解が無数

○ 1元1次方程式  $\Rightarrow$  解が1つ

# 連立方程式の解き方

- ①係数の絶対値のそろっている文字を消去する。
- ②代入してもう一方の値を求める。